

高信頼性ICタグ

RFIDに付加価値を

似て非なるものが連続で存在するプラントのメンテナンスでは、ヒューマンエラーを撲滅するために、バーコードやRFIDといった自動認識技術は必要不可欠であることは今や論を待たないことではないかと思えます。

自動認識技術は端末、ネット、サーバといったトータルのデータハンドリングがスムーズにできるため、データの一元化、作業指示、作業記録、作業報告、進捗管理といった処理が大変スムーズにでき、正確な作業と効率化を同時に実現できることとなります。従来のダブル、トリプルチェックの人員費の削減をコンピュータに負わせるという位置づけにもなります。

さらに、アクティブなRFIDを導入しますと、LED点灯による作業ガイドや、状態表示といった新しい付加価値を付けることが可能となります。すなわち、RFIDとはいえ、簡便なセンサやさらにアクチュエータという領域までシステムを展開することが可能となっていきます。

現場の問題をいかにスマートに解決できるか、当社は日夜検討を続けています。ご遠慮なくご相談いただければ必ず問題解決策を見出すことができると確信しています。